

## 第10章 目標値と計画の評価

10-1 目標値の設定

10-2 計画の評価

## 10-1 目標値の設定

本計画に基づき実施する誘導施策の有効性を定量的に評価するため、「①居住」、「②都市機能」、「③公共交通」、「④防災」の4つの視点で評価指標及びその目標値を次のとおり設定します。

### (1) 居住に関する目標値

評価指標	現状 平成 27 年(2015 年)	推計値 令和 22 年(2040 年)	目標値 令和 22 年(2040 年)
居住誘導区域内の 人口密度	45.3 人/ha	39.1 人/ha	40 人/ha

※目標値 市街化区域の設定基準である 40 人/ha を基に設定

評価指標	現状 平成 27 年(2015 年) <sup>※</sup>	目標値 令和 22 年(2040 年)	
都市機能施設の 徒歩圏人口カバー率	医療	76.2 %	現状維持
	商業	76.6 %	現状維持
	福祉	93.6 %	現状維持
	子育て	89.5 %	現状維持
	教育	89.2 %	現状維持
	文教	54.4 %	現状維持
	金融	54.6 %	現状維持

※現状 人口：平成 27 年（2015 年）、都市機能施設：令和 3 年（2021 年）

評価指標	現状 平成 27 年(2015 年)	目標値 令和 22 年(2040 年)
20~30 歳代の純移動率 <sup>*</sup>	0 %	1 %

※現状・目標値 第 2 期苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略（令和 2 年 3 月）と同様の値を設定

## (2) 都市機能に関する目標値

評価指標	現状 令和4年(2022年)	目標値 令和22年(2040年)
都市機能誘導区域内に 誘導施設が立地している割合	100%	現状維持

## (3) 公共交通に関する目標値

評価指標	現状 令和元年(2019年)	目標値 令和7年(2025年)
路線バス実車走行 km あたり 利用者数	1.17 人/km	現状維持
各生活拠点における バス待合整備箇所数	— (未整備)	4 か所
路線バスの利用頻度	22.0 %	27.0 %

※現状・目標値 苫小牧市地域公共交通計画（令和3年6月）と同様の値を設定

## (4) 防災に関する目標値

評価指標		現状	目標値
洪水・土砂	機能保全した河川数	令和2年(2020年) 8河川	令和6年(2024年) 9河川
地震・津波	耐震化が必要な橋梁の耐震化率 (内、緊急輸送道路をまたぐ 橋梁の耐震化率)	令和2年(2020年) 79 % (100 %)	令和8年(2026年) 100 %
避難環境	福祉避難所の指定状況	令和2年(2020年) 8か所	増加
地域防災力	自主防災組織*カバー率	令和元年(2019年) 90.08 %	令和5年(2023年) 93 %
災害リスク 周知	津波ハザードマップの作成状況	令和2年(2020年) 45町内会・30箇所	令和6年(2024年) 改訂率100 %

※現状・目標値 苫小牧市強靱化計画（令和3年3月）と同様の値を設定

## 10-2 計画の評価

本計画の運用にあたっては、おおむね5年ごとに施策・事業の実施状況についての調査、分析及び評価を行い、社会情勢の変化等も踏まえながら、PDCAのサイクルに基づき施策等の進捗状況を検証し、必要性に応じて適宜計画の見直しを行うこととします。

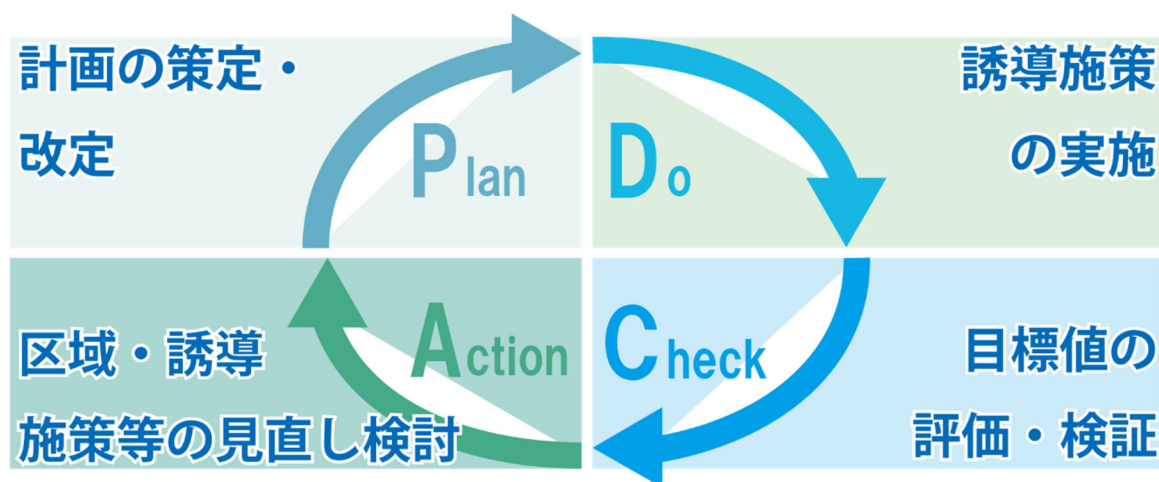


図 10-1 本計画の PDCA サイクル